第 10 回 漢方生薬ソムリエ(初級)認定試験

試験問題

試験日 ： 令和 6 年 12 月 1 日

注意事項の説明 ： 12:45～13:00（15 分）

試験(筆記及び鑑定) ： 13:00～15:00（120 分）

退席可能時間 ： 14:00～14:45

受験上の注意

1. 試験問題冊子は監督者の指示があるまで開かないでください。
2. 問題冊子、筆記試験解答用紙、鑑定試験解答用紙、各 1 部ずつ配布します。
3. 試験開始前に解答用紙に氏名を正しく記入してください。
4. 試験開始後、直ちに問題冊子に落丁がないか確認してください。表紙を含め全 21 ページです。
5. 筆記試験問題の出題数は全部で 80 問で、全て５択問題です。解答用紙に正解の番号を記してください。
6. 鑑定試験時間は 10 分間です。指示に従って鑑定試験を受けて下さい。
7. 鑑定試験の生薬は 20 種類です。
8. 試験問題はお持ち帰りください。
9. 試験中は監督者の指示に従って下さい。

設問の注意

1. 設問の解答は、原則として第十八改正日本薬局方に収載されている範囲内とします。
2. 日本薬局方の条文では、生薬名はカタカナで表記されますが、設問では漢字表記もあります。但し、生薬名の英語又はラテン語表記の知識を問う問題はこの限りではありません。

日本漢方生薬ソムリエ協会
Japan Kampo Shoyaku Sommelier Association

問（1）写真に示す植物に由来する生薬が、収穫後に加工調製される工程として正しいものはどれか。

① 皮を去る
② 湯通し
③ 芯を除く
④ 水蒸気で蒸す
⑤ 酒に浸して蒸す

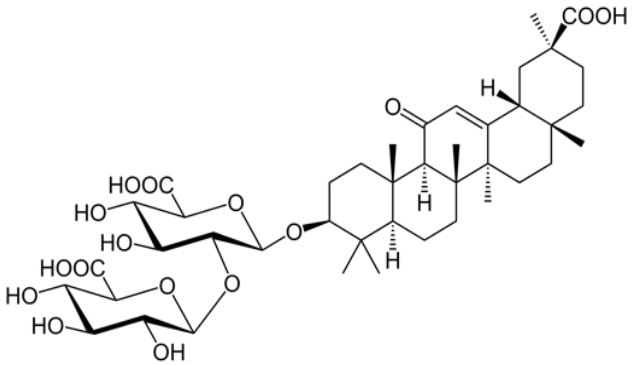
問（2）カンキョウとショウキョウは基原は同じであるが、カンキョウは湯通し又は蒸したものであり、ショウキョウは根茎を熱処理せずに干したものである。確認試験としてショウキョウでは（成分名１）が設定されているが、カンキョウでは（成分名２）が設定されている。加工工程において（成分名１）が、（成分名２）に変換されることによる。成分名１及び２の組み合わせで正しいものはどれか。

① ギンゲロール ギンセノシド
② ショーガオール ギンゲロール
③ ショーガオール ギンセノシド
④ ギンセノシド ギンゲロール
⑤ ギンゲロール ショーガオール

問（3）生薬ラテン名で薬用部位が CORTEX である薬用植物は何れか。

① チンピ
② ゲンチアナ
③ ニガキ
④ ボタンピ
⑤ トウヒ

問（4）図に示す化合物を含有する生薬はどれか。



① オウゴン
② オウバク
③ カンゾウ
④ シャクヤク
⑤ センナ

問（５）次の生薬は食品（スパイス）としても用いられる。生薬名とハーブ名の組み合わせで正しくないものはどれか。

① 小豆蔻／カルダモン
② 肉豆蔻／ナツメグ
③ 丁子／クローブ
④ サフラン／サフラワー
⑤ 欝金／ターメリック

問（６）生薬加工調製の際行われる硫黄燻蒸の目的として、正しくないものはどれか。

① 漂白
② 防虫
③ 保存性向上
④ 外面色を鮮やかにする
⑤ 脱臭

問（７）ワシントン条約で保護されている薬用植物は何れか。

① *Saussurea lappa*
② *Rheum palmatum*
③ *Ephedra sinica*
④ *Glycyrrhiza uralensis*
⑤ *Crocus sativus*

問（８）生薬の加工に関する組み合わせで、誤っているものはどれか。

① 当帰／湯揉み
② 黄連／毛焼き
③ 牡丹皮／芯抜き
④ 黄芩／皮去り
⑤ 柴胡／皮去り

問（９）紅花（コウカ）に関する記載文で、正しいものはどれか。

① 原植物の原産地は西アジアやアフリカであるとされる。
② 日本では北海道で多く栽培される。
③ 赤い花は、開花後徐々に退色して黄色くなる。
④ 番紅花よりも理血薬としての効果が優れるとされる。
⑤ 高品質なものを得るために、採集は夕方以降に行われる。

問（１０）次に示す生薬５種の中で、漢方生薬として国内使用量が最も多いものはどれか。

① ブクリョウ

② サイコ

③ ケイヒ

④ カッコン

⑤ ヨクイニン

問（１１）図に示すような化合物に類する成分を含有しない生薬はどれか。

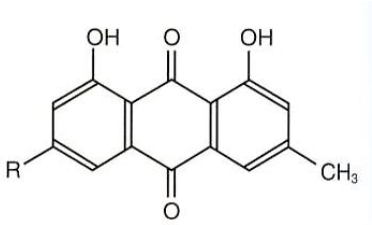
① アロエ

② ケツメイシ

③ ダイオウ

④ マシニン

⑤ センナ



問（１２）樹に由来する生薬はどれか。

① Gentian

② Cardamon

③ Condurango

④ Calumba

⑤ Ager

問（１３）次の生薬のうち、苦みがないものはどれか。

① 人参

② 苦参

③ 黄柏

④ 黄連

⑤ 黄耆

問（１４）次の生薬のうち、えぐ味のあるものはどれか。

① 十薬

② カノコソウ

③ 半夏

④ 牽牛子

⑤ 地黄

問（１５）煎じる際に先煎が推奨される生薬は何れか。

① 大棗

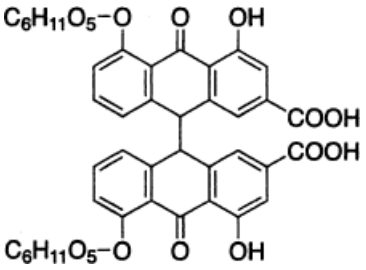
② 大黄

③ 半夏

④ 麻黄

⑤ 桂皮

問（１６）図に示す構造式は何れの化合物か。



① Adrenarine

② Ephedrine

③ Aloe Emodin

④ Sennoside

⑤ Menthol

問（１７）写真の植物と同じ科の植物を基原とする生薬はどれか。

① 甘草

② 釣藤鉤

③ 蒼朮

④ 蘇葉

⑤ 五味子

問（１８）陳皮と枳実に関する記載で、誤っているものはどれか。

① 陳皮と枳実の原植物はミカン科の植物である。

② 陳皮と枳実の原植物は同一で、ただ採集時期（果実の成熟度）が異なる。

③ フラボノイド配糖体として、陳皮はヘスペリジン、枳実はナリンギンを主成分とする。

④ 陳皮、枳実ともに陳久品が良品とされる。

⑤ 枳実は採集時期が早いほど薬効が鋭いとされる。

問（１９）次に示す生薬のうち、原植物が単子葉植物に分類されるものはどれか。

①　烏薬

②　ウワウルシ

③　柴胡

④　サフラン

⑤　センナ

問（２０）写真に示す植物を原植物とする生薬に関する記述として誤っているものはどれか。

①　日本の民間薬である

②　赤花のほか白色花と黄色花がある

③　地上部を薬用とする

④　タンニン類を含有する

⑤　フウロソウ科植物である

問（２１）写真は日本薬局方に収載される生薬の原植物である。この原植物から得られる生薬はどれか。

①　香附子

②　山帰来

③　刺五加

④　蘇木

⑤　釣藤鉤

問（２２）葛根の原植物の形態として正しい記述はどれか。

①　常緑の蔓性植物である。

②　花は黄色い。

③　豆果（莢）は無毛である。

④　葉は３枚の小葉からなる。

⑤　初夏に花が咲く。

問（２３）次の生薬のうち、原植物の開花時期が夏から秋であるのはどれか。

①　延胡索
②　黄連
③　杏仁
④　山茱萸
⑤　附子

問（２４）栽培時に種子を用いず、専ら株分けで苗を生産している生薬はどれか。

①　白芷
②　黄連
③　川芎
④　防風
⑤　射干

問（２５）写真に示す植物に由来する生薬の主な産地はどこか。

①　韓国
②　日本
③　中国南部
④　中国東北部
⑤　エジプト

問（２６）次に示すセリ科植物由来生薬の原植物で、一つだけ花の色が異なるものがある。

①　川芎
②　浜防風
③　防風
④　当帰
⑤　茴香

問（２７）写真に示す原植物に由来する生薬はどれか。

① 桜皮
② 紅花
③ 橙皮
④ 桃仁
⑤ 杏仁

問（２８）写真に示す原植物に由来する生薬はどれか。

① Gastrodia Tuber
② Scutellaria Root
③ Processed Aconite Root
④ Corydalis Tuber
⑤ Senega

問（２９）写真に示す薬用植物の撮影時期はいつか。

① 春
② 夏
③ 秋
④ 冬
⑤ いずれとも言えない

問（３０）顕微鏡で観察した際に気孔が確認できない生薬はどれか。

① マオウ

② ジュウヤク

③ シゴカ

④ インヨウカク

⑤ アマチャ

問（３１）次に示す薬用植物のうち、葉が複葉であるものはどれか。

① オウレン

② カギカズラ

③ ショウガ

④ ゴボウ

⑤ ナルコユリ

問（３２）オウレンの原植物に関する記載内容で間違っているものはどれか。

① *Coptis* 属植物である。

② 初夏に花が咲く。

③ 花(花被片)は白い。

④ 種子は採りまきするとすぐに芽生える。

⑤ 日本でも以前は多く栽培されていた。

問（３３）日本薬局方に収載される附子の原植物に関する記載で正しいのは何れか。

① *Aconitum carmichaeli* のみ。

② *Aconitum japonicum* のみ。

③ *Aconitum kusnezoffii* のみ。

④ *Aconitum carmichaeli* と *Aconitum japonicum*。

⑤ *Aconitum japonicum* と *Aconitum kusnezoffii*。

問（３４）原植物が光合成能力を有しない生薬はどれか。

① 扁豆

② 丁香

③ 蒺梨子

④ 天麻

⑤ 川骨

問（３５）トチバニンジンについて正しい記述はどれか。
① 中国東北地方に自生している
② 日本各地の森林内に自生している
③ オタネニンジンよりも栽培が容易である
④ 薬用部分は根である
⑤ 地上部の形態はオタネニンジンの地上部と全く異なる

問（３６）果皮を意味するラテン語はどれか。
① FRUCTUS
② PERICARPIUM
③ SPICA
④ CORTEX
⑤ CAULIS

問（３７）現在、日本国内では生産されていない生薬はどれか。
① Cnidium Rhizome
② Ginseng
③ Bupleurum Root
④ Dioscorea Rhizome
⑤ Cistanche Herb

問（３８）生薬と日本薬局方確認試験の指標成分の組み合わせで、正しくないものはどれか。
① 淫羊藿／イカリイン
② 蘇葉／ペリルアルデヒド
③ 五味子／ゴミシン A
④ 柴胡／サイコサポニン a
⑤ 山茱萸／ロガニン

問（３９）Hedysarum 属植物と区別するため、日局で縦切片上、繊維束外辺にシュウ酸カルシウムの結晶細胞列がないことを純度試験で規定している生薬はどれか。
① Astragalus Root
② Peony Root
③ Gastrodia Tuber
④ Glehnia Root and Rhizome
⑤ Saposhnikovia Root and Rhizome

問（４０）日本薬局方の規定で、酸不溶性灰分の限度値が最も高く設定されている生薬はどれか。

① ジオウ
② センキュウ
③ リュウタン
④ サイコ
⑤ ニンジン末

問（４１）次の生薬のうち、日本薬局方の条文中に記載されている原植物が複数種あるものはどれか。

① 茵陳蒿
② 菊花
③ 紅花
④ 牛蒡子
⑤ 木香

問（４２）以下の文は日局生薬総則の内容である。空欄に入る語句はどれか。

「生薬に用いる容器は、別に規定するもののほか、[　　] とする。」

① 気密容器
② 密閉容器
③ 密封容器
④ 気密または密閉容器
⑤ 気密または密封容器

問（４３）次の性状を示す生薬は何れか。一つ選べ。「本品は花、対生する葉、茎及び通例短い木質の根からなり、長さ 10～50cm である。茎は方柱形で、径約 2mm、しばしば分岐する。」

① ゲンノショウコ
② 益母草
③ ジュウヤク
④ トラガント
⑤ センブリ

問（４４）日局収載の漢方エキスにおける芍薬の確認試験は多くの場合、確認指標成分としてペオニフロリンが規定されているが、桂枝茯苓丸エキスではアルビフロリンが規定されている。桂枝茯苓丸エキスでアルビフロリンが規定される理由として適切なものはどれか。

① 同時に配合される桃仁の成分と反応してペオニフロリンが分解するため。
② HPLC で分析する際に、同時に配合される他の生薬成分とピークが重なり、ペオニフロリンが確認しにくくなるため。
③ 同時に配合される他生薬にもペオニフロリンが含まれているため。
④ 試料調製が簡素化できるため。
⑤ 特別な理由はない。

問（４５）日本薬局方では、安全性の担保という観点から、以下の【 】内に示す生薬について純度試験として総 BHC 及び総 DDT の規格を設けている。

【オンジ、カンゾウ、ケイヒ、サイシン、サンシュユ、ソヨウ、（　　）、チンピ、ビワヨウ、ボタンピ】。

（　　）内の生薬の組み合わせとして正しいのを一つ選べ。

① センナ、ニンジン、タイソウ
② コウジン、センナ、ニンジン
③ コウジン、センナ、ニンジン、ダイオウ
④ コウジン、センナ、ニンジン、タイソウ
⑤ コウジン、センナ、ニンジン、タイソウ、タクシャ

問（４６）日本薬局方に「生薬の基原は適否の（ ）とする。生薬の基原として、「その他同属植物」、「その他同属動物」、「その他近縁植物」及び「その他近縁動物」などと記載するものは、通例、同様の成分、薬効を有する生薬として用いられる原植物又は原動物をいう。」とある。（　）に入るべき用語は何れか。

① 判断基準
② 判定規格
③ 判定基準
④ 判別基準
⑤ 鑑定規格

問（４７）ドラーゲンドルフ試薬は何を検出するために使用されるか。
① アルカロイド
② デンプン
③ 配糖体
④ サポニン
⑤ フェノール性水酸基

問（４８）2 種の生薬の浸出液を合すると沈殿（濁り）を生じる組み合わせはどれか。
① ボレイとボウコン
② ダイオウとオウレン
③ ニンジンとキキョウ
④ ニンジンとチクセツニンジン
⑤ センナとケツメイシ

問（４９）口にした時、唾液を黄色に染めない生薬はどれか。
① 黄連
② 黄柏
③ 大黄
④ 鬱金
⑤ 黄芩

問（５０）『日本薬局方』では、ジオウには、加工（修治）法により 2 種が並列記載されている。ジオウの加工法を表す接頭語として正しい組み合わせはどれか。
① 生 と 炮
② 生 と 乾
③ 生 と 熟
④ 乾 と 熟
⑤ 乾 と 炙

問（５１）日本薬局方収載生薬において、1 品目で加工方法が 3 種類規定されている生薬はどれか。
① カンゾウ
② コウジン
③ ジオウ
④ トウキ
⑤ ブシ

問（５２）黄連末の日局純度試験に関する以下の記載で【】内の記載として正しいものはどれか。一つ選べ。「本品 0.5g に水 2.0mL を加えてかき混ぜるとき，【 】。」

① 液は無色を呈する
② 液はゲル状を呈する
③ 液はゲル状を呈しない
④ 液は白濁する
⑤ 微細な気泡を生じる

問（５３）日本薬局方に「本品は（ ）の根である。本品を乾燥したものは定量するとき、ヒヨスチアミン（$C_{17}H_{23}NO_3$：289.37）0.4%以上を含む。」とある（ ）に入るべき植物は何れか。

① *Atropa belladonna* Linné
② *Hyoscyamus niger* Linné
③ *Scopolia carniolica* Jacquin
④ *Scopolia japonica* Maximowicz
⑤ *Scopolia parviflora* Nakai

問（５４）日本薬局方収載生薬において、貯蔵の際の保存条件として「遮光」が規定されている生薬はどれか。

① BEZOAR BOVIS
② CARTHAMI FLOS
③ GINSENG RADIX PURVERATA
④ RHEI RHIZOMA PURBERATUM
⑤ FEL URSI

問（５５）共通点のある 4 種類の生薬を並べた。誤った組み合わせはどれか。

① 瀉下薬とする；大黄、センナ、決明子、アロエ
② 修治することがある；黄耆、人参、甘草、地黄
③ 木本植物に由来する；金銀花、牡丹皮、キササゲ、麻黄
④ ナス科植物に由来する；ベラドンナ根、ロート根、ゲンチアナ、地骨皮
⑤ イリドイド化合物を含有する；地黄、杜仲、肉蓯蓉、キササゲ

問（５６）生薬の加工に関する次の文章で、内容が間違っているものはどれか。

① 日本薬局方「シャクヤク」には湯通ししたものがある。

② 一般に加熱加工すると生薬の性質は温性に傾く。

③ 一般に加熱加工すると生薬の色は濃くなる。

④ 一般に加熱加工すると揮発性成分が減少する。

⑤ 一般に加熱加工すると生薬は虫害を受けやすくなる。

問（５７）横切片の鏡検で一般に確認困難なものどれか。

① 石細胞の有無

② でんぷんの複粒

③ シュウ酸カルシウムの結晶形

④ 道管の径

⑤ 道管の種類

問（５８）次の生薬の中で、古い方が優れていると考えられてきた生薬はどれか。

① GENTIANAE RADIX

② PINELLIAE TUBER

③ CORYDALIS TUBER

④ ALISMATIS TUBER

⑤ GINSENG RADIX

問（５９）昨今、国内での薬用植物栽培への期待が高まっているが、その背景・事情の説明として間違っているものはどれか。

① 主供給国である中国の状況（天変地異、価格、制度など）に対する安定確保へのリスク回避策が求められているため。

② 耕作放棄地などの代替作物のひとつとして活用が期待されているため。

③ 薬用作物は栽培が野菜に比べて手間がかからず、より高値で取引されるため、生産者の収入が安定しやすい。

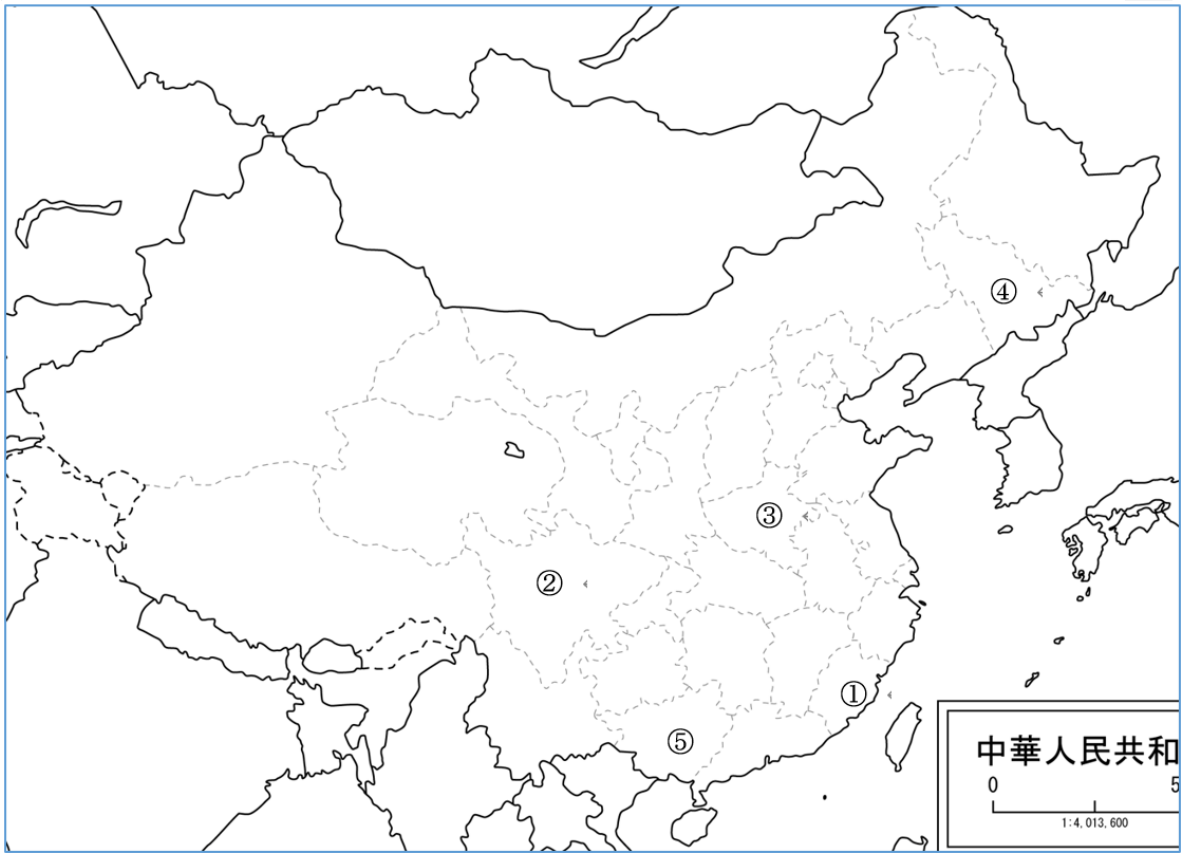
④ 薬用作物専用の農業機械が無いため、薬用作物に適した農業機械の開発が望まれている。

⑤ 野菜と比較すると、複数年の栽培期間がかかるものもあり、また使用できる農薬種は少なく収穫後の乾燥などの設備も必要など負担がかかる場合がある。

問（６０）以下の生薬の中で、国内での使用量(国内製品向け使用量、海外工場生産分を含む)が中国産より日本産の方が多いものはどれか。

①　小麦
②　粳米
③　厚朴
④　当帰
⑤　人参

問（６１）山薬や牛膝の良質品を産出する地方は何処か。



問（６２）当帰と川芎に関する記載で、正しいものはどれか。

①　当帰と川芎はいずれも根を加工して生薬とする。
②　当帰はセリ科,川芎はアカネ科の植物を基原とする。
③　当帰及び川芎は一つの処方に同時に配合されることがあるが、いずれも成分としてリグスチリドを含有する。
④　通常、当帰は野生品、川芎は栽培品である。
⑤　当帰の花は白色、川芎の花は黄色である。

問（６３）日局生薬の原植物の学名と科名の組み合わせで誤っているものはどれか。

① 川芎：*Cnidium officinale* Makino (Umbelliferae)

② 当帰：*Angelica acutiloba* Kitagawa 又は *Angelica acutiloba* Kitagawa var. *sugiyamae* Hikino (Umbelliferae)

③ 独活：*Aralia cordata* Thunberg (Umbelliferae)

④ 白芷：*Angelica dahurica* Bentham et Hooker filius ex Franchet et Savatier (Umbelliferae)

⑤ 防風：*Saposhnikovia divaricata* Schischkin (Umbelliferae)

問（６４）日本薬局方に収載される甘草の原植物に関する記載で正しいのは何れか。

① *Glycyrrhiza uralensis* のみ

② *Glycyrrhiza uralensis* と *Glycyrrhiza glabra*

③ *Glycyrrhiza uralensis* と *Glycyrrhiza inflata*

④ *Glycyrrhiza glabra* と *Glycyrrhiza inflata*

⑤ *Glycyrrhiza uralensis* と *Glycyrrhiza glabra* と *Glycyrrhiza inflata*

問（６５）日本と中国で異なる植物が用いられている生薬として誤っているものはどれか。

① センキュウ

② サイコ

③ コウカ

④ トウキ

⑤ コウボク

問（６６）以下の 生薬 ― 成分 ― 薬理作用 の組み合わせのうち、正しくないものは何れか。

① 牡丹皮 ― アトラクチロン ― 血小板凝集抑制作用

② 附子 ― アコニチン系アルカロイド ― 鎮痛作用

③ 麻黄 ― エフェドリン ― 交感神経興奮作用

④ 桂皮 ― ケイアルデヒド ― 発汗解熱作用

⑤ 沢瀉 ― アリソール類 ― 利尿作用

問（６７）副腎皮質ホルモンの合成原料となりうる成分が含まれる生薬が配合される漢方処方は何れか。

① 葛根湯

② 真武湯

③ 大柴胡湯

④ 小柴胡湯

⑤ 牛車腎気丸

問（６８）次のうち、八味地黄丸に配合されない生薬はどれか。

① GLYCYRRHIZAE RADIX

② MOUTAN CORTEX

③ CORNI FRUCTUS

④ ALISMATIS TUBER

⑤ PORIA PULVERATUM

問（６９）玄米が配合される漢方処方はどれか。

① 黄連解毒湯

② 半夏厚朴湯

③ 麦門冬湯

④ 防風通聖散

⑤ 補中益気湯

問（７０）次の漢方処方の中で、ACONITI TUBER が配合される処方はどれか。

① 柴苓湯

② 小青竜湯

③ 小柴胡湯

④ 真武湯

⑤ 乙字湯

問（７１）五苓散に関する説明で正しいものはどれか。

① 苓がつく生薬５種類が配合されている。

② 苓がつく生薬４種類が配合されている。

③ 苓がつく生薬３種類が配合されている。

④ 胃内停水を改善する半夏が処方されている。

⑤ 配合量が最も多い生薬は沢瀉である。

問（７２）日局では漢方処方に含有成分の定量が規定されている。左側に示す漢方処方Ⅰ～Ⅲと右側に示すａ～ｅの定量成分の正しい組み合わせはどれか。

Ⅰ．芍薬甘草湯　　a．グリチルリチン酸
Ⅱ．葛根湯　　b．総アルカロイド（エフェドリン及びプソイドエフェドリン）
Ⅲ．小柴胡湯　　c．ペオニフロリン
　　d．サイコサポニンｂ2
　　e．バイカリン

①　Ⅰ-a, c、Ⅱ-b, c、Ⅲ-c, d, e
②　Ⅰ-a, c、Ⅱ-a, b, c、Ⅲ-a, d, e
③　Ⅰ-c, e、Ⅱ-a, b, c、Ⅲ-a, d, e
④　Ⅰ-a, c, e、Ⅱ-b, c、Ⅲ-a, d, e
⑤　Ⅰ-a, c, e、Ⅱ-b, c, e、Ⅲ-c, d, e

問（７３）マグノロール、ロスマリン酸およびギンゲロールの含有量が規定されている漢方エキス処方は何れか。

①　大建中湯
②　小青竜湯
③　小柴胡湯
④　半夏厚朴湯
⑤　芍薬甘草湯

問（７４）漢方処方の使用上の注意や副作用について、誤っているものはどれか。

①　妊婦、産婦、授乳婦への投与は副作用の観点から原則投与しないことが望ましいが、小半夏加茯苓湯は妊婦のつわりに使用されることがある。
②　小児等への投与は用法及び容量が承認されておらず、安全性が確立していないため投与してはいけない。
③　小柴胡湯はインターフェロン製剤との相互作用により重篤な副作用が発現することがあるため、併用禁忌となっている。
④　カンゾウを１日量として 2.5g 以上含有する処方については、偽アルドステロン症が現れやすくなるため他のカンゾウ含有処方や利尿剤などとの併用は注意し、観察を十分に行う必要がある。
⑤　黄連解毒湯、加味逍遙散などのサンシシ含有処方は長期服用により腸間膜動脈硬化症を引き起こす可能性がある。

問（７５）次の副作用に関する記載のうち、正しくないものはどれか。

① 麻黄はエフェドリンを含有しており、狭心症発作誘発、不整脈悪化、血圧上昇などの症状を発現することがあるため、高齢者に用いるとき注意が必要である。

② 附子はアコニチンを含有しており、動悸、しびれ、悪心、嘔気、嘔吐などの症状を発現することがあるため、陽証の者に用いるとき注意が必要である。

③ 細辛はアリストロキア酸を含有しており、慢性尿細管間質性腎炎などの腎障害や腎不全を引き起こすため、注意して用いる必要がある。

④ 甘草はグリチルリチン酸を含有しており、低カリウム血症、浮腫、脱力感などの症状を発現することがあるため、摂取量に注意して用いる必要がある。

⑤ 人参は人参サポニン類を含有しており、のぼせ、湿疹、皮膚炎の悪化などの症状を発現することがあるため、陽証、実証の者に用いるとき注意が必要である。

問（７６）長期投与により腸間膜静脈硬化症を引き起こすとされる生薬はどれか。

① Rhubarb

② Scutellaria Root

③ Pinellia Tuber

④ Gardenia Fruit

⑤ Ephedra Herb

問（７７）人が経口的に服用するものが、医薬品医療機器等法に規定する医薬品に該当するか否かは、「無承認無許可医薬品の指導取締りについて」（昭和 46 年 6 月 1 日付け薬発第 476 号厚生省薬務局長通知）の別紙「医薬品の範囲に関する基準」により判断されるが、通例これを何というか。

① 所謂「薬食判断基準」

② 所謂「無許可無承認ガイドライン」

③ 所謂「二課長通知」

④ 所謂「指導指針」

⑤ 所謂「食薬区分」

問（７８）我国で最古の医学書と言われ、大陸から隋、唐などの医学書を引用して本草を含む医学全般を包括した書籍はどれか。

① 能毒

② 新修本草

③ 本草和名

④ 神農本草経集注

⑤ 医心方

問（７９）1709 年（宝永 6 年）に刊行された貝原益軒の著作で、本草綱目の分類法に益軒独自の分類を加えて、1362 種について由来、形状、利用などを記載した本草書はどれか。

① 大和本草

② 薬徴

③ 本草綱目啓蒙

④ 和剤局方

⑤ 和漢三才図会

問（８０）右は証類本草の葛根の項目である。採集時期について初めて記載した本草書名は何か。

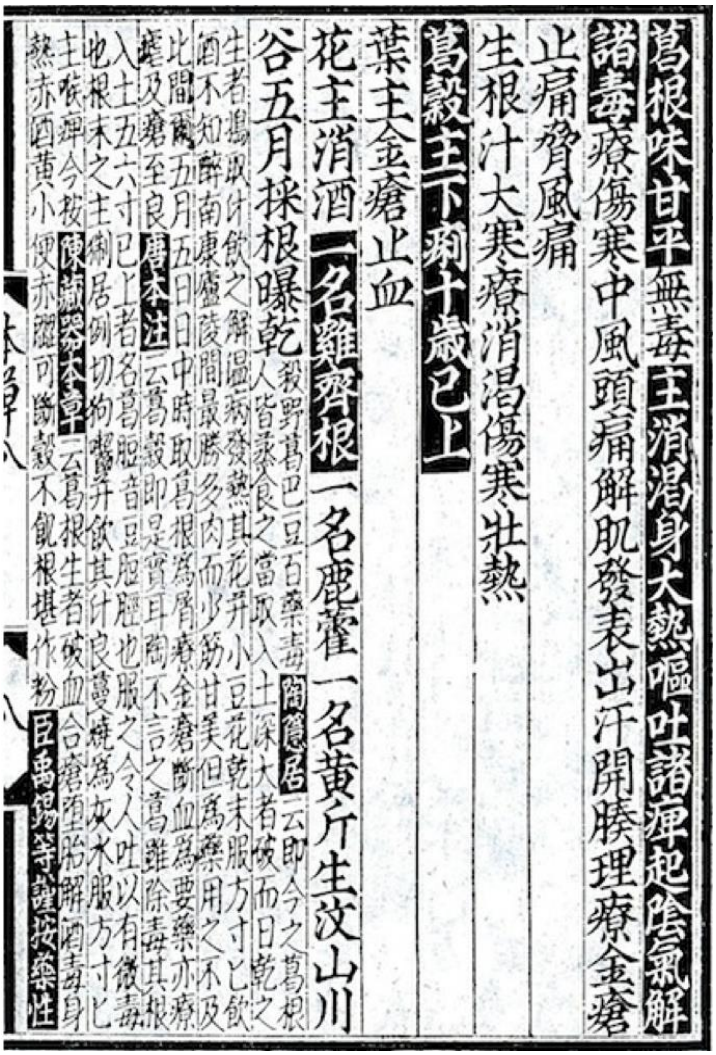
① 傷寒論

② 金匱要略

③ 名医別録

④ 神農本草経

⑤ 神農本草経集註


葛根味甘平無毒主消渴身大熱嘔吐諸痺起陰氣解
諸毒療傷寒中風頭痛解肌發表出汗開腠理療金瘡
止痛脅風痛
生根汁大寒療消渴傷寒壯熱
葛穀主下痢十歲已上
葉主金瘡止血
花主消酒一名雞齊根一名鹿藿一名黄斤生汶山川
谷五月採根曝乾殺野葛巴豆百藥毒陶隱居云即今之葛根
人皆蒸食之當取入土深大者破而日乾之
生者搗取汁飲之解溫病發熱其花并小豆花乾末服方寸匕飲
酒不知醉南康廬陵間最勝多肉而少筋甘美但爲藥用之不及
比間爾五月五日日中時取葛根爲屑療金瘡斷血爲要藥亦療
瘧及瘡至良唐本注云葛穀即是實耳陶不言之葛雖除毒其根
入土五六寸已上者名葛脰音豆脰脛也服之令人吐以有微毒
也根末之主痢居例切狗嚙并飲其汁良蔓燒爲灰水服方寸匕
主喉痺今按陳藏器本草云葛根生者破血合瘡墮胎解酒毒身
熱赤酒黄小便赤澀可斷穀不飢根堪作粉臣禹錫等謹按藥性